

担い手通信

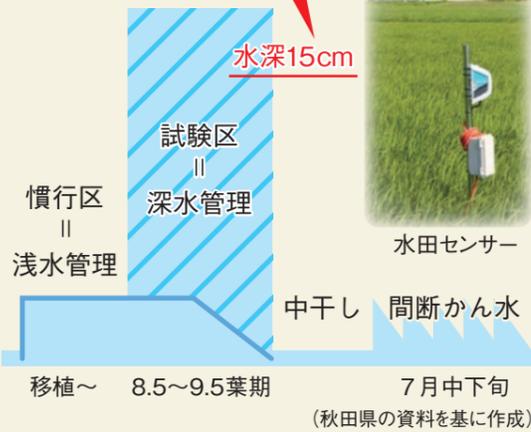
vol. 3

ninaitetsushin

先進事例情報

水田センサーを使って深水管理を実施

有効茎歩合の向上



水田センサーは、設置した水田の水位や水温などを測定し、スマートフォンなどを使っ

と共同研究になります。水田センサーを稲作の深水管理に応用し、良食味米の安定生産ができることを、秋田県農業試験場が実証しました。水位を正確に把握し、きめ細かな水管理をすることで、全量1等米、玄米タンパク質含有率6.0〜6.4%の目標を達成。水管理の省力化に加え、品質向上にもセンサーが役立つことを示しました。農研機構・農業技術革新工学研究センターなどの共同研究になります。

秋田県農試が実証

水田センサーで良食味 深水確実に、収量も増

て離れた場所から状態を確認できます。5年ほど前から市販品が登場してきました。秋田県は県内の水田にセンサーを設置し、8.5〜9.5葉期に水位15cmの深水管理をしました。深水は分けつを抑制してもみが実る有効茎歩合を高め、整粒歩合の向上による等級改善や、米のタンパク質含有率の低下によ

る食味向上につながる。ことが知られています。試験区の水田で深水管理をした2019年産「あきたこまち」は、有効茎歩合が88.6%で浅水管理より7割上昇しました。10ア当たり収量も570kgでし。また、タンパク質含有率は6.1%となり、浅水管理よりも0.2割低くなりました。北秋田市の野呂義久さん(58)は、県と協力して約50アの水田に水田センサーを設置し、深水管理に取り組みました。浅水管理の米と比べ、食味検査で総合的に味が良いと評価されました。「深水

管理は稲の茎数が減り、中干しのときにすっきりした姿だった」と違いを感じたといいます。県北秋田地域振興局は「目視だと水位15cmのつもりが10cmしかない生産者もいた。食味が良いのはセンサーで正確に管理した結果」と語ります。また、水管理の時間は水田センサーの導入で見回り回数が減ったため、10ア当たり14〜28分となり、導入前と比べ、38〜85%減少しました。水田センサーと自動給水栓を導入した水田では、同10分

(日本農業新聞 2020年8月5日)

学農技術
ピックアップ

飼料用米の保管経費

玄米の野外保管で 経費5割以上削減

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介する。

飼料用米は主食用米と同じ機械装備で生産できるため、県内でも栽培面積が拡大しています。地域内流通が半数程度を占める飼料用米の課題は、保管場所の確保や輸送保管経費の削減等があげられます。一般的に粗米で保管されますが、農業研究所では減容化が可能な玄米に着目し、保管倉庫を必要としない野外での通年保管技術を確立しました。慣行保管よりも5割以上の経費削減にもつながります。野外での通年保管方法は図のように、ポリエチレン製の内袋とポリプロピレン製の外袋を組み合わせた保管容器を用意します。その中に水分13.5%未満の乾燥玄米を充填し、内袋の投入口に2重に強く結束します。こうすることで、保管開始時の水分含量

と乾物重を維持することができ、貯穀害虫や糸状菌(カビ)を発生させることなく、水分や乾物重、飼料成分値や可消化養分総量(TDN)等の変動を抑えることができます。また、この保管体系(玄米-内外袋-野外区)は、慣行体系(粗米-外袋-倉庫区)に比べると、容積や保管場所単

価を低減させることができ、乾物玄米1t当たりの年間保管経費を55%削減できます。野外保管する玄米の水分は13.5%未満になるよう必ず乾燥させてください。他にも鳥獣害などが多発する環境下で野外保管する場合には、別途対策が必要ながあります。

図：飼料用米の充填から内袋結束作業



お問い合わせ先 生産技術研究室 農産研究課 ☎ 0598-42-6359
中央農業改良普及センター ☎ 0598-42-6705

JAバンク三重 専門家派遣事業

法人化

事業承継

労務管理

農業者の皆さまの悩みや課題を 専門家がサポートします

6次産業化

経営改善



★税理士や中小企業診断士などのプロがアドバイスを行います。
★最大で5回、**無料**で専門家のサポートを受けることができます。

「JAバンク三重専門家派遣事業」は、円滑な事業承継や経営の高度化を目指す農業者の皆さまの要請に応じ、専門的な知識や経験を有する専門家を派遣し、経営課題に応じた適切な診断・助言を行うことで、課題の解決を図り、皆さまの発展に資することを目的としています。ぜひ、ご利用ください。

実施期間

2020年4月1日
～2022年2月28日

対象者

- 三重県内において農業を営む方および農業に従事する方
 - 三重県内において農業を営む法人
- ※課題が不明確な場合や受入体制が不十分などの場合は、ご希望に沿いかねる場合もございます。

詳細については各JA担当者までご確認ください



農業経営資金

農業を営む
すべての方を応援します!

農業経営に必要な資金として幅広くご利用いただけます。



負担軽減後金利
当初3年 年0.2% (変動金利)

【取扱期間】2020年4月1日～2021年3月31日

※JAバンク利子補給制度によりお借入から3年後の応当日まで最大年1.0%の利子補給が受けられます。
※JAバンク利子補給後の当初ご負担金利は0.2%を下回らないように調整されます。

詳しくはお近くのJAバンクまでお問い合わせください。
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

